

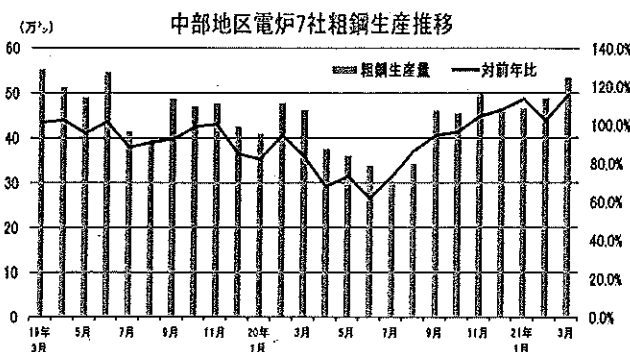
名古屋 地区消費は堅調ながらも軟調感

(名古屋)名古屋地区の鉄スクラップ市況は弱含み気配。前週末にかけて東京製鉄の田原工場が今月2度目の値下げ改定を実施したことで、他の地場電炉にも一斉に追随下げの動きが広がっており市況は一段安となっている。H2実勢値は4万500~4万1500円どころ中心。

海外市場ではトルコの買いが弱まり、東・東南アジアに向けた日本玉の輸出商談価格も軟化してきている。プレートの高騰や配船難の状況には変化がなく、域内の湾岸浜値も安値寄りにある。浜値の値下がり、市況の先安観もあって、今月第2週以降はメーカー入荷も回復傾向にはあるものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で鋼材需要の先行き不透明感から電炉の減産が目立った昨年同月とは異なり、今月は19年6月以来の地区粗鋼50万ト、超えが見込まれるなど消費も拡大している。

よって、市中間屋筋には、年度末環境から若干なが

ら引取り増も見られるなか「引取りが減る週末などは電炉入荷も伸びている」(商社筋)とする所もあるが、電炉には慎重対応が見受けられる。今後も過度な値下がり予測する声は少ないものの、「輸出の底値が見えにくい以上は当面弱気感が続くのでは」(業者筋)との見方も広がっている。



18日に「レアメタル資源再生技術研究会」をWEB開催

(名古屋)レアメタル資源再生技術研究会は18日、「第20回レアメタル資源再生技術研究会」をWEB開催した。

今回は「ポストコロナの産業活性化に向けた循環経済ビジョンと資源リサイクルの展望-日本型循環経済とEUのサーキュラーエコノミー」をテーマに、物質・材料研究機構 原田幸明名誉研究員「サーキュラーエコノミーとは何か?-日本の静脈産業の役割」、福岡県リサイクル総合研究事業化センター中村崇氏「サーキュラーエコノミーの課題と今後の方向性-日本と欧州の資源リサイクルの得意・不得意」、オランダ・ライデン大学アーノルド・タッカー教授「EUの循環経済-最近の政策イニシアチブと資源効率の傾向」の3講演と総合討論が行われた。

この中で原田氏は「CO₂は人間が出している最大の廃棄物。またプラスチックは自然分解が不可能。現在、温暖化などの要因により、恐竜が絶滅したよりも早い

速度で生物が絶滅している」と語り、大筋次のように話した。

循環型社会(3R)の目的は最終処分の減量で、再資源化が主な手段。対してサーキュラー・エコノミー(CE)は資源効率の改善が目的で、使用済み製品の高度多様再利用が手段。従来のリサイクルとは違い、「残存価値」を追求する。リサイクル業の提供するサービスは①消費者の安心できる製品のエンド・オブ・ライフ管理②不要物からの有価物の分離、取り出し③使用済み有害物、有害情報の処理など。日本のリサイクル業の強みは最後まで責任を持つこと。モットイナイの風土で、消費者負担を含みリサイクル制度と消費者による分別が徹底している。また小型家電リサイクルなど、徹底した後始末の発想で、次に使うところまで責任を持った処分が特長。リサイクル業は「資源回収」から「残存価値」の復元と再提供に拡大する。

Go To
コロナに負けるな!
TRACON
Now's the chance to change!

応援キャンペーン
総額 **1,000万円**

キャンペーン期間: 2020年11月1日 ~ 2021年3月31日

CBM株式会社

TRACON 検索
URL <https://www.tracon.jp>
E-mail info@tracon.jp

本社 名古屋市中村区名駅南2-3-2 TEL 052-561-2131
関東 さいたま市北区別所町15-2 TEL 048-664-7554
九州 福岡市南区井尻3-11-26 TEL 092-710-0211

超大型ギロチン(3,000ト)稼働
大型母材積極買入

タンクローリー・ダンプボディー・ミキサー車
鉄筋ダンゴ・甲山プレス・大物建屋解体

昭 栄 金 属 株式 会社

一宮市丹陽町五日市場天上77
TEL 0586(76)3211番(代)